

# 横須賀 日日新聞

市民記者がつくる

- 2 無線通信は横須賀から
- 3 17校38チームが参加
- 4 三崎ゆかりの名いだく

発行所：神奈川新聞横須賀支社 〒238-0004 横須賀市小川町21-9 TEL.046(822)2020 FAX.046(823)3845 ✉yokosuka@kanagawa-np.co.jp 第59号  
 神奈川新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル ☎0120-446-709。1週間のお試し読みも受け付けています。購読料1ヵ月3,189円  
 平成29(2017)年2月5日発行

## 横須賀日日新聞

2017年2月5日

### あなたが地域の主人公 22

徐々に「目からのうろこ」の思いを味わった。広報のプロ、電通が行った「伝えるコツ」セミナーでのこと。このセミナーは電通が市民活動団体を対象にCSR（企業の社会貢献）として展開している。毎年、全国数カ所で行われ、その人気セミナーを横須賀に招請することができた。

### 「のろたんフェア」

横須賀日日新聞 第59号  
 2017年2月5日  
 あなたが地域の主人公 22  
 テーマ：のろたんフェア  
 (想いを伝える大切な機会)  
 ※許可を得て掲載しています。

## 想いを伝える大切な機会

う変わるか、ビフォー・アフターを見せてくれた。驚きの連続であった。私はプロが行う「チャラ書き」という発想展開のテクニックをセミナー後すぐに実践している。後半は持ち寄った自前のチラシで実践する。習ったばかりの「伝えるコツ」を活かしてチラシを作り替える。最後には和気あいあいと新しくできたチラシの採点会。定員50名を超えた会場は熱気にあふれ、多くのNPOが真剣にワークに取り組む、あっという間に4時間が過ぎていった。市民団体、NPOはミッション（使命）に生きる。だから当然のように想いが強い人々の集まりである。それは悪いことではない。想いの強さが周りを巻き込



昨年12月16日、サポートセンターで行われた「のろたんフェア」の参加団体説明会

み、願いを伝え、社会を、地域を変える力となるのだ。だが想いが強すぎることは、さまざまな弊害も起る。今回のセミナーを通して学んだのは、思い込み、自己満足、相手のことを考えない不親切さ、が逆にどれだけ大切なことを伝えられない原因となっているか、ということ。2月11、12日に年に一度のNPOのお祭り「のろたんフェア」が行われる。その参加団体説明会が昨年12月に行われた。今年は86団体、総勢100名を超す人々がサポートセンターに集まった。フェア本番に向けてのキットオフ会議であったが、まさに熱い想いを持った人々の集団であった。間もなく想いを伝える大切な機会がやってくる。「何を求めているかはわからないが、何かを強く求めていることだけはわかる」は、歴史の中の誰かの言葉。そうならないように、自分自身を戒めたい。さて、2年近く続いたコラムも3月が最終稿となる。最後まで想いをきちんと伝えられるように取り組みたい。(横須賀市立市民活動サポートセンター館長・高橋 亮)